

若さでがんばってます

225

今回は太田名部の

太田 竜さん(19歳)

を紹介します

地元で働きたかった



今までは、
 普代中学校卒業後、アルバイトをしながら家業である漁業の仕事をしています。
 仕事の内容は、
 ワカメが終わって今は、すぎ昆布の最盛期ですが煮る作業を任されて頑張っています。
 職場で心掛けていることは、
 売り物をつくっていますので商品に傷が付かないよう心掛けています。
 今の仕事についての理由は、

地元に残って働きたかったからです。
 仕事が休みの日には何をしていますか。
 友達と遊んだり、ドライブに行ったりしています。
 今、してみたいことは、
 ラスベガスに行って遊びたいです。

趣味、特技は、
 車いじりとパチンコです。
 すきな言葉(信条)は、
 一攫千金

理想の女性像と結婚は、
 明るく、楽しい人がいいですね。結婚は明日にでもしたいです。

将来のあなたは、
 考えたことがないけど、生きていけばそれで十分です。
 これからの村に期待するものは何ですか。
 コンビニがあったらいいです。最後にあなたのPRを。
 見掛けたら声でも掛けてください。
 さいね。
 次回はどなたを紹介してくださいませ。
 太田名部の太田旭さんです。

漁師さんの森づくり

畠山 重篤

「森が裸になると海が死にます」
 海を守るため、「森は海の恋人」運動を開始しました。森が、海に生きる生物にどんなに大切で必要なものなのか。子供たちは、体験学習を通して肌で感じていきます。
 (講談社)



ミスキャスト

林 真理子

「雪崩のような激しい展開、恐ろしいけどスツキリする」と大反響!



この結末はハッピーエンドかそれともホラーなのか。二回目の結婚をした男の欲望とためらいを描いた、まったく新しい恋愛小説! (講談社)

図書館漫遊

恋つま

井沢 満



間宮陶子、五十二歳。私立大学の文学部で教授を勤める。頭脳労働者としてプライドを持って生きてきた彼女だったが、五十二歳の若さで、アルツハイマー病と診断された陶子とその家族の生きざま。
 (角川書店)

遺された言葉

三浦 綾子

妻から夫への感謝の言葉を書いた直筆の本。夫婦としてともに生き、ともに歩むことの深い意味を短い謝辞の言葉を借りて実に見事なまでに、心の内を語っている。妻が天に召された後、夫が編集、発行した著書。
 (講談社)

